

第 4 回 令和 6 年能登半島地震 道路復旧技術検討委員会を開催します（WEB 開催）

令和 6 年能登半島地震にて甚大な被害を受けた国道 249 号（直轄権限代行区間）等の早期復旧に向けた対策について、9 月 20 日からの記録的な大雨による被災状況も踏まえて、専門的な知識を有する学識経験者等による検討を行い、復旧方法等について助言いただくことを目的に、第 4 回 令和 6 年能登半島地震道路復旧技術検討委員会を開催します。

【開催概要】

■日 時：令和 6 年 12 月 23 日（月）10 時 30 分～11 時 30 分

■場 所：金沢河川国道事務所 2 階 会議室 金沢市西念^{さいねん}4 丁目 23 番 5 号
（同会議室より WEB により構成員と接続）

■議 題：国道 249 号中屋トンネル工区の応急復旧方法等

※会議資料及び開催結果については、委員会開催後、北陸地方整備局ホームページ
(<https://www.hrr.mlit.go.jp/bosai/R6noto.html>) への掲載を予定しています。

■報道関係のみなさまへ

委員会は非公開とさせていただきますが、委員会冒頭に写真撮影の時間を設けます。取材を申し込まれる場合は、別紙にて予め登録をお願いします。

＜記者発表先＞

新潟県政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、新潟県内専門紙、富山県政記者クラブ、
富山県内専門紙、石川県政記者クラブ、石川県内専門紙

■問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局 道路部

道路工事課長 岩崎^{いわさき} 義一^{よしかず} 電話：025-280-8880（代）

令和6年能登半島地震道路復旧技術検討委員会 構成員

(敬称略)

所属・役職	氏 名	備 考
金沢工業大学 金沢工大附置研究所 地域防災環境科学研究所 教授	川村 國夫	防災工学、トンネル、地盤災害、基礎・地盤工学
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長	桑原 正明	道路土工 (斜面、法面等)
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 橋梁研究室長	白戸 真大	橋梁全般
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 構造・基礎研究室長	藤田 智弘	道路基礎、トンネル
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路地震防災研究室長	上仙 靖	道路地震防災 (リスクアセス等)
土木研究所 地質・地盤研究グループ 上席研究員 (特命事項担当)	浅井 健一	土砂崩壊・地質
土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・振動チーム 上席研究員	佐々木 哲也	盛土構造 (土質等)
土木研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム 上席研究員	日下 敦	トンネル全般
土木研究所 構造物メンテナンス研究センター (CAESAR) 橋梁構造研究グループ 上席研究員	大住 道生	橋梁耐震

○

○：委員長

事務局

北陸地方整備局道路部道路工事課
北陸地方整備局道路部道路管理課
北陸地方整備局金沢河川国道事務所
北陸地方整備局能登復興事務所
石川県土木部道路建設課
石川県土木部道路整備課
石川県中能登土木総合事務所
石川県奥能登土木総合事務所

取材登録書

第4回 令和6年能登半島地震道路復旧技術検討委員会

日時： 令和6年12月23日（月） 委員会 10:30～

場所： 金沢河川国道事務所 2階会議室（金沢市西念^{さいねん}4丁目23番5号）

取材を希望される場合は、事前に本取材登録書を送付願います。

1. 取材者

報道機関名	
氏 名	
連 絡 先	

2. 送付先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 計画課

Mail mizuno-r22ab@mlit.go.jp

FAX 076-233-9631

3. 問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所

副所長 太田 峰誉
計画課長 水野 力斗

TEL 076-264-9912（代表）